日大通教
校友会報

発行所
日本大学通信教育部校友会
〒101-0065
東京都千代田区西神田2-7-10
TEL・FAX 03（3234）5858
発行責任者　白戸　忠志
編集責任者　師田袈裟茂

平成25年5月25日開催

第42回定期総会報告

会長挨拶

日本大学通信教育部校友会
会長　白戸　忠志

本日は全国から校友の方、役員の方、大勢ご出席いただき有り難うございます。

平成25年度第42回通信教育部校友会定期総会の開催に当たりご挨拶申し上げます。

鈴木弘文前会長ご逝去の後を受け、皆様のご支援とご協力により、会長として一年が経過しました。これまでの校友会活動をご報告いたします。

校友会活動の目的達成事業の第一であります会報発行を、第81号の総会号と第82号の新年号を、皆様方のご協力により発行することが出来ました。この会報は本部で二つ折りか三つ折りにしてお届けし、会報発送費補助など支部負担の軽減に対応しております。

今年1月26日(土)には、三役会と新年会がこの桜門会館で開催されました。三役会では、本日の総会議案の審議と各ブロック長の報告・各専門部長より活動報告がありました。

新年会には、日本大学理事長で日本大学校友会会長の田中英壽先生にご来駕いただきました。日本大学通信教育部から教職員の先生方13名、また他学部校友会本部・支部より12名のご来賓がありました。学友が12名・校友67名でした。4階桜ホール一杯の104名でした。応援団OBによる校歌斉唱のリーダーや「日大節」・高澤副会長指揮で「ロマンのうた」や斎藤照夫副幹事長による箱根駅伝の思い出など華やかで楽しい新年会でした。開催にご協力いただきました役員・校友の方々に改めまして感謝申し上げます。

この第42回定期総会の議案であります会則の改正に付きご案内します。

まず役員会費の改定です。前会長より引継ぎの議案で常任委員会・三役会で検討しました。本年度の予算案に反映しておりますので、今年度から役員会費が改定になります。相談役の方は来期に役員改選があり、26年度から会費をお願いすることになります。

次は、役員の選出基準を明確にし、文章として会則に追加しました。これも常任委員会で討議し三役会を経た議案です。会則で「役員の任期は3年とする。ただし再任を妨げない」と、また「常任幹事・幹事は各支部より選出する」となっております。来年が改選年度です。各支部長の方は今年12月末までに「本部役員候補推薦名簿」を事務局に提出しなければなりません。

日本大学通信教育部の卒業生は3万名を超えております。この方々が正会員であり、役員候補者です。支部長は支部総会や会報発送で支部会員を掌握されておられます。今度の役員改選は会費値下げもあり一人でも多くの役員を推薦し、通信教育部の絆の強さを示して頂きたいと思います。

ここで日本大学校友会正会員制度について触れておきます。日本大学とその学生を支援するために活用されている会費で年額一万円です。その内の三千円が正会員還付金として校友会に入ります。それには通信教育部と記入枠に明記する必要があります。卒業の学部・居住の支部名では通信に還付されません。ご理解いただき、また継続して正会員費の納入をお願いいたします。この還付金を支部に配分するようにとのご意見がありますが、正会員のいない支部・休眠支部の正会員などもあり、総合的判断で支部総会補助金や会報発送費補助として配分していますのでご理解下さい。

通信教育部が市ヶ谷に移転するとの発表がありました。私共の校友会事務局も移転します。大学・校友会本部のご理解・ご協力で日本大学会館内に事務室を提供していただけることになりました。また、ブロック総会開催には大学から教職員の先生方が、必ずご来賓としてご参加いただけます。大学の行事と重なるときは、お祝い金と大学よりのメッセージをお預かりし、本部役員が開催支部にお届けいたします。このような信頼関係は、先輩方に築いていただいた「三位一体の発展」の賜物であると感謝申し上げます。

日本大学は平成31年に130周年を迎えます。その記念行事として駿河台に「日本大学病院」を建設、「人間総合科学部」を新設・「小学校」を藤沢市に開校、「学生寮着工」などで、記念募金もあり、皆さんのご協力をお願いします。

学友会との交流を積極的に進め、信頼関係を深めていきたいと痛感しております。学生は準会員であり卒業すれば正会員です。校友会の未来がかかっています。押し付けでは反発されます。先輩として愛情を持って接してください。

今年度の予算を有効に生かし「三位一体の発展」をこれからも押し進めてまいります。

最後になりましたが、これからもご指導・ご協力を重ねてお願い申し上げ、皆様方のご多幸とご健勝を祈念して定期総会の挨拶と致します。

本日はご出席有り難うございました。

部長ご挨拶

日本大学通信教育部
部長　福田　弥夫

校友会総会での報告の通り、通信教育部は、日本大学本部の隣接地に新校舎を建設し、来年九月に移転することとなりました。五月二三日に地鎮祭が滞りなく執り行われ、工事がスタートしました。

創設以来の本拠地である神田三崎町には、法学部と経済学部があり、夏の風物詩とも呼ばれる夏期スクーリングは、法学部や経済学部の校舎を利用して実施してきました。校友会の皆様にとっても、三崎町は思い出の地であり、猛暑の中で全国各地からの集まってきた学友と机を並べ、議論に花を咲かせた心のふるさとであると思います。

大学の方針により、市ヶ谷へ移転することとなりましたが、全面的な移転ではなく、サテライト機能を三崎町に残し、夏のスクーリング等は三崎町を中心とする開講となります。また最近受講生が増加傾向にある「昼間スクーリング」は、学生の図書館利用の便宜などを考慮し、午前の講義は三崎町を中心として実施することを検討しております。

新校舎は、各教室にテレビカメラを設置し、最新の情報通信機器を備え、スクーリングのサテライト化に対応すると同時に、スムーズなメディア教材の作成が可能となります。市ヶ谷移転は、これまで通信教育部が培ってきたeラーニング、メディア授業のノウハウなどの教育的資源を、大学全体のものとして活用し、本学における教育力強化のための施策のひとつです。単なる建物やキャンパスの移転ではなく、創設六五周年を迎えた通信教育部が、eラーニングを中心とした学修の推進及び支援のための機構における中核的存在として、「アクティブラーニング」に関する中心的組織として、さらに、日本最大の総合大学である本学のメリットを生かすための「日本大学バーチャル・ワン・キャンパス」の実現に向けての中心的組織として変革して行くことを意味しています。本学全体の通信教育部に対する期待には大きいものがあり、このような期待に十分応えられるよう一丸となって努力する所存です。もちろん、通信教育課程の充実も重要であり、平成二八年開設予定の新学部、「（仮称）人間総合科学部」に合わせた新たな通信教育課程の設置も視野に入れた検討作業に入りました。

日本大学通信教育部は、これまでも「学生、大学そして校友会」の三位一体となった協力体制のもとで発展してきました。今後ますますの校友会の皆様のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

誠は天の道なり、之を誠にするは人の道なり。誠は勉めずして中り、思わずして得、従容として道に中る、聖人なり。之を誠にするは、善を択んで固く之を執る者なり。

中庸　第二十章十七節

総会議事報告

第42回定期総会は、熊本県支部長本田みよ子氏の司会により進行した。

校歌斉唱は副会長富沢良光氏の指揮により、副会長山崎孝明氏の開会の辞で始められた。

◎会長白戸忠志氏の挨拶

◎議長団選出は執行部一任により、東京都支部長金子栄輔氏と岩手県支部長菅原忠文氏が選出された。

◎議事録署名人
香川県支部長高橋治子氏
兵庫県支部長前田忠義氏

◎議事録作成書記委託
事務局職員　八馬朱代

◎議事
第1号議案　会則改正について　肱岡総務部長

役員年会費の改正については、平成25年度施行する。その他の名誉役員などの変更については平成26年度に施行する。

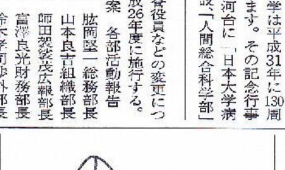
第2号議案　各部活動報告
総務部　肱岡堅一総務部長
組織部　山本良吉組織部長
広報部　師田袈裟茂広報部長
財務部　富澤良光財務部長
渉外部　鈴木孝司渉外部長
第3号議案　平成24年度事業報告　鈴木勝事務局長
第4号議案　平成24年度決算報告　江崎　泰元会計
第5号議案　平成24年度監査報告　鎌子　健監査
第6号議案　平成25年度事業計画（案）　鈴木勝事務局長
第7号議案　平成25年度予算（案）　熊木　昭典会計

第1号議案から第7号議案まで承認された。議長団解任、審議終了とする。

◎感謝状授与者
徳島県支部　新居行次氏（故人）
千葉県支部　根本　一夫氏
大阪府支部　坂東　君子氏
　岡持　慶子氏
鹿児島県支部　古市　重喜氏
　瀬戸山義弘氏
　中園　一男氏

◎表彰状授与者
香川県支部　小西長之助氏
富山県支部　岡田伊知夫氏
静岡県支部　石川　貞夫氏
　後藤　正治氏
　小松　征夫氏
愛媛県支部　今村　茂樹氏

白戸忠志会長より授与された。坂本育穂副会長の閉会の辞により総会は終了した。



会則（改正）

日本大学通信教育部校友会 懇親会

第8条（追加）
4. 名誉会長は、日本大学通信教育部長とする。
5. 名誉顧問は、校友会に功績のあるものを三役会の議を経て会長が委嘱する。

第9条（追加）
通信教育部教職員による役員の任期は、現職在位の期間とする。
（削除）尚役員の増員については、各支部長の推薦を得て総会に於いて決定するものとする。

第5章　役員会費（変更）
2. 副会長（会長指名）　3万円
3. 副会長（ブロック推薦）・幹事長　2万円
4. 会計・監査・副幹事長　1.5万円
5. 常任幹事・事務局長　1万円
6. 幹事・事務局次長　5千円
7. 役員選考基準第1条11項の相談役　3千円
尚、兼任の場合は上位の役員会費とする。

役員選考基準（追加）
8. 顧問は通信教育部教授・准教授とする。
9. 相談役は通信教育部職員で課長以上のものとする。
10. 通信教育部教職員で校友会の役員経験者を、承諾を得て、相談役に委嘱する。
11. 会長・副会長経験者は、常任役員会で検討し、三役会の議を経て相談役に委嘱する。

講演会

講演者　星　亮一氏
講演タイトル
「会津藩と山本八重」
星　亮一氏　略歴
一九三五年　仙台生まれ
東北大学国史学科卒
日本大学大学院修了
作家
主な著書
「奥羽越列藩同盟」
「幕末の会津藩」
「会津落城」他、著書多数

懇親会

記念写真撮影後、懇親会に進んだ。

司会　事務局長　鈴木　勝
開会の辞　副会長　三村洋一
会長挨拶　白戸忠志
校歌斉唱　指揮　富澤良光
ご来賓祝辞　日本大学校友会本部事務局次長　齋藤正道様
通信教育部長　福田弥夫様
乾杯の音頭　相談役　石川寿朗

その後、懇談・来賓の紹介・通信教育部教職員紹介・校友会役員紹介が行われ、ご来賓、新卒者、現役学生等が一堂に集まり、地方民謡、女性の「ロマンの歌」などの余興で楽しい時間を過ごし、再会を約束して散会した。